

シルバー せたがや



撮影：落合 泰造

2016.3 145号

- ・慣れ仕事 心のゆるみ 事故のもと
 - ・安全は 心と時間の 余裕から
 - ・食、眠、運動しっかりと 気力充実 気分爽快
 - ・危険予知 シルバー世代の 知恵活かし
- 平成 27 年度「安全標語」入選作品

★★ 目 次 ★★

2P~3P...平成 27 年度 当センターの活動報告
運営委員会／地域組織・会員部会／広報・広聴部会／
女性活動推進部会／安全委員会／就業適正化部会
4P~5P...平成 27 年度 仕事別グループ交流会議：
なぜ、仕事別グループ結成が必要か
植木グループ研修会：大宅映子氏 講演
「みんなちがって みんないい」を目指そう
あったかサロン便り

6P...安全委員会からのお知らせ：
平成 28 年度 安全標語入選作品
あなたの職場拝見：地震対策は大丈夫？
7P...会員のページ
8P...事務局便り(さわやか相談・事業実績・
配分金振込予定日・事務局本部の一時移
転情報・定時総会開催予定のお知らせ)／
同好会ガイド





平成27年度 当センターの活動報告

平成27年度は役員改選で新体制がスタートし、2委員会と4部会とがそれぞれ以下のような活動を行ってきました。

各委員会・部会の役割を再確認するとともに、より良いセンターを目指して、来期も改善・改革を進めていきましょう。

運営委員会

清宮 茂光

当委員会は、第3次中期5か年計画の推進、平成27年度事業計画に基づく各目標値の達成を基本に据え、本年度の主な所管行事の着実な実施を目指して活動してきました。

- ① 7月27・28日、川場村で役員研修会を実施。
当センターの歴史や現況を学ぶとともに、今後果たすべき役割等について深く議論した。
- ② 8月1日・2日「区民まつり」に参加。炎天下理事、事務局職員がPRグッズ等を配布。11月4日・5日の「いきいきせたがや文化祭」では実行委員として活動のほか、会員の作品展示や演芸会参加を通じて、当センターのPR活動を展開した。
- ③ 8月24日、多摩川花火大会翌日の河川敷清掃

のボランティアに26名が参加。

- ④ 9月～11月末、全理事による発注者訪問を実施。
57箇所の発注者先で、会員の就業状況、先方の要望等の聴き取りと共に就業拡大に積極的に取り組んだ。
- ⑤ 11月19日「就業感謝のつどい」を北沢タウンホールで開催。実行委員会を組織し、事務局のバックアップを得て、長年の発注者様に感謝状を贈呈、会員の体験談やアトラクション、琵琶と篠笛演奏等を会員・一般区民が共に集い楽しんだ。
- ⑥ 「第4次就業改善推進計画策定委員会」を立ち上げ、新計画の策定に着手、平成28年3月「第4次就業改善推進計画」（冊子）刊行を実施。
- ⑦ 2月24日、「平成27年度仕事別グループ交流会議」を15グループ参加で開催。

地域組織・会員部会

大崎 英男

地域組織の活性化とその役割や活動の強化推進のため、年4回開催の組長連絡会で事務局も交えて、情報・意見交換を実施してきました。また「生きがい就業」／「地域貢献」の両立、センター発展のために以下の各研修会を開催しました。

区からの委託「せたがやシルバー情報」配布に当たり、一部の組（地域組織）で地域ぐるみの就業として取り組んでいただき、今後の地域就業体制を進めていくための貴重な事例となりました。

- ① 組長研修会：「城西大学」塚本教授による、高齢化が進む地域社会の中でシルバー人材センター（以下S.C）の立ち位置、就業事業分野、S.C設立の理念に基づく組織論（運動体）の講演を実施。
- ② 班長研修会：地域組織の中核をなす班長の役割や活動を経験豊富な班長の講話と会員交流で、また地域活動の活性化については討議を通じて、取り組むべき課題の共有を図った。
- ③ 2年次・5年次研修：当センターの動向や今後の取組み、待遇等の講話や討議を通じ、会員にとってのセンターの位置づけや就業体験、情報の交換や抱負等を語ることで仲間意識向上、醸成を図った。

広報・広聴部会

木村 万紀子

広報紙「シルバーせたがや」や「ホームページ」を通して、当センターの活動方針、具体的な活動内容、何が課題として挙がり議論されているか等を、常時わかりやすく会員の皆様へお伝えすることを主な活動としてきました。

様々な就業現場を取材し、職種の違いや就業会員さんの思いを伝え、事故発生時の具体的な要因等も掲示して安全就業の啓発にも努めてきました。

会員同士の交流のきっかけになる「会員のページ」に、皆様のご投稿をお待ちしています。

- ① 定時総会、各種の研修、区民まつり、いきいきせたがや文化祭、就業感謝のつどい等のイベントの開催報告および、参加呼びかけのチラシやプログラム作成等を実施。
- ② 様々な職種の就業者、あるいは楽しい趣味の世界を持つ会員さんをインタビューして紹介。
- ③ 「就業感謝のつどい」の会場に写真パネルを作成。「80歳代で活躍されている会員さん」及び「さまざまな職種の就業会員さん」の働く現場写真とコメントを部会員全員で取材して掲示した。
- ④ 広報紙より数多い写真や、最新情報がホームページに掲載されているので、活用願いたい。

女性活動推進部会

土屋 信三

家事援助・女性活動部会は、女性の就業会員が多い家事援助サービス支援を中心に活動してきましたが、より幅広く女性会員の活動を支援できるよう「女性活動推進部会」と名称を変更しました。女性の会員増と就業職域の拡大を重要な目標として活動していきます。

- ① 平成26年5月、用賀ワークプラザで開設した「あったかサロン」は現在までに230名以上の利用登録、延べ2000人以上の利用者に達した。より多くのボランティア参加、サロンご利用を期待している。
- ② 昨年1月より世田谷区との連携で新事業として実施された「支えあいサービス」は、まだ実績は少ないが、介護保険制度の改正に伴い今後の需要が見込まれる。地域密着型の仕事のため、多くの会員にご登録をお願いしたい。
- ③ 区民まつりや宮坂区民センターまつり等で女性会員募集のチラシを配布。僅かながら新入会員の女性比率が増加傾向にある。今後は各部会と連携しての会員募集や、女性会員の活動分野を広げるよう各職域に働きかけていく。
- ④ 11月16日開催の当部会の研修会では、ナレーターの中里雅子様、ディレクターの川上隆様を講師に迎え、60名の会員が参加、健康発声法や朗読、紙芝居を楽しんだ。

就業適性化部会

前田 俊夫

当部会は、未就業会員の就業促進や、会員が平等に適正就業できるよう就業改善計画を促進するのが目標です。毎年、質問に工夫をこらして「会員意向調査アンケート(未就業者)」を実施していますが、今年度は未就業会員と提供された就業先までの交通手段の関係を以下のように調査してみました。

また、就業の希望がある方には毎月1回開催の「さわやか相談」利用をお奨めしています。

- ① A. シルバーパスを所有しているか B. 自転車を所有しているか C. 自転車に乗れるか。
回答結果は、以下のようになりました。
A. 50.5% B. 65.4% C. 82.1%
事務局は就業提供時の参考にしていただきたい。
- ② 「さわやか相談」
個別に理事や、希望職種担当職員が相談に応じているが、具体的な仕事内容の説明をすると、「早

安全委員会

橋本 誠

当委員会では、以下のように、会員の安全就業啓発に努めてきました。

- ① 自転車事故防止のため、平成26年から区の交通安全自転車課の協力を得て、各地域組織の懇談会等で講演を行ってきた。その結果、昨年の自転車事故は激減した。
- ② シルバー傷害保険対象事故は当委員会に報告され、委員が現場検証を行い事故の要因分析(4M: 人的・設備的・作業環境的・管理的)をし、広報紙に掲載して啓発を促した。
★4M: Man・Machine・Media・Management
- ③ 屋外就業が主の植木、駐車場等、児童(保育園児含む)見守り、公園清掃を重点的に夏季の安全パトロールを実施。熱中症等への注意を促した。
- ④ 全職種で、就業会員・仕事別グループ・事務局間の緊急連絡体制が確立していないと、事故やトラブル発生時、特に事務局の業務時間外時等に迅速に対応できないため、「緊急連絡カード」を作成配布した。会員証ケースに入れ常時携帯することを要請。



▲あったかサロン クリスマスパティー

朝の就業は苦手」、「夜遅くの就業はダメ」、「土日の就業は避けたい」という会員さんが多く、提案できる職種が見つけないケースがある。

当センターの就業は、一般の方が行わない、隙間的な時間帯の就業がほとんどであることを認識して、提案された就業を体験してみることで、未就業者の減少に繋がると思われる。

- ③ 「4回更新ルール」の調査・徹底
当センターでは、継続型の職種は毎年更新で、同一の業種で同一就業場所の場合、最高4回まで更新できるという「4回更新ルール」がある。
この3月に就業満了の会員が200名ほどいるが、後続希望者が見つからない、発注者様の事情等で新しい会員と交代できないケース等もあり、今後の課題になっている。

2月24日、本部の大会議室で、第4回仕事別グループ交流会議が開催され、15グループの代表29名、事務局職員、役員一同が一堂に会しました。

各代表が自己紹介を兼ねて自分の職種の現状を紹介し、その後、①自転車等整理誘導、②家事援助、③除草の3グループが事例発表を行い、全員で意見交換を行う会議でした。

河上常務理事より、仕事別グループの必要性やメリットについて、以下の解説がありました。

- ・グループ就業なら会員間交流を通して一定水準の仕事の完成度が維持でき、一人就業でも、グループ結成により会員交流が図られる。
- ・グループ内で詳細マニュアル作成や研修会開催等を行って切磋琢磨が可能。
- ・グループの成熟具合で、発注者との直接交渉も可能になり、発注者の満足度向上に寄与できる。
- ・グループ内で集計作業等を行い、事務局の事務量の軽減化が図れる。

当センターの就業は、実質的に一人就業の形が多く、仕事の引継ぎの説明が先輩によって異り困惑する、他の人はどんなやり方をしているか知りたいがチャンスがない等の会員の悩みが、仕事別グループ結成でかなり解決できそうです。

発表から、グループ内の交流が多いほど人間関係や仕事がうまく運んでいる印象を受けました。



事例発表① 放置自転車等整理誘導グループ

メンバー68名（リーダー6名含む）が全員集まることはないが、3月に2組に分けて研修を実施し、駅ごとのグループ研修や接客研修を年1回実施。忘年会等の懇親会も行っている。



千葉 博司 氏

会員に高齢者が多いので、リーダーは、体調管理やトラブル発生時の対処へのアドバイス、報告書の書き方や点検等の指導を行っている。

事務局がマニュアルを作成してくれたので新人研修が楽になり、各駅により事情が異なる点も判明し、各リーダーが対策を考慮中である。

ベテラン会員ほどマニュアルを読まず自分流を通したがるのが難点である。パソコン活用で、書類対処の時間の大幅短縮ができた。



植木グループ研修会 大宅映子氏 講演

「みんなちがって
みんないい」を目指そう

2月23日、宮坂区民センター大会議室で植木グループの研修会が開催され約60名が出席しました。

講師は、政府の審議会委員やテレビ・ラジオでコメンテータとして活躍のジャーナリスト「大宅映子氏」です。

テーマは「現在の時代をどう認識し、どう生きるべきか」。ご自身の生き立ち、経験、キャリア、時代背景等を通して、世代間で異なる価値観、見方、考え方の違いを、平等、競争、性差別、プライバシー、公平等のキーワードを軸に、具体的・客観的な事例や体験を交えながら、氏がどう捉えているかを

語り、どう生きたら良いかを問うものでした。

そして、金子みすずの「みんなちがって、みんないい」の詩のように、人々が互いの違いを認めあい尊重しあう、そんな社会こそが幸せで望ましいであろうとなりました。

当センターの会員の一人として、キャリア・知識・考え方に違いがあれど互いに認め合いながら、植木グループの仲間と共に、高齢になっても社会と繋がりながら健康で過ごせる環境に、あらためて感謝する座学研修会でした。

(大崎 英男)

事例発表②

家事援助グループ

リーダー制はなく、職員とコーディネーター（4名）の連携体制で、登録会員と発注者の仲介役を行っている。

全会員が集まることはないが、年1回開催している一般研修や小物作り等の催事、全体会に出席することで交流が可能。



矢我崎 佐代子 氏

●女性活動推進部会の役割 —— 角屋 千寿子 氏

当センターは、家事援助サービス以外に、「あったかサポート」（1時間以内のできる電球交換、物の移動等の単発サービス）、「支えあいサービス」（あんしんすこやかセンターから発注を受ける要支援認定者への継続就業サービス）も実施していて、社会の高齢化と共に就業の拡大が見込まれている。男性の参加も求められているが、主な担い手の女性会員増が緊急課題になっている。

女性会員の職域を広げて活躍の場の選択肢を増やすことも重要なので、各職種のリーダーには、女性会員受入れをぜひ検討してほしい。

社会貢献活動として、「あったかサロン」運営も当部会で扱っているので、多くの会員さんの利用、運営ボランティア参加もぜひお願いしたい。

◆青山事務局長の講評：どの事例も、今後のグループ化を考えるのに役立つものですが、発注・職種が異なれば条件も異なり、各自が合ったものを工夫すればよいのではないのでしょうか。

グループ活動が活発になると、事務局と会員の役割も見直していくこととなりますが、互いに助け合い、より質の高い仕事を目指すのが本来の目標であります。

参加グループ：植木、ポスター掲示、施設管理、公共施設清掃、マンション清掃、指定管理(自転車)、自転車等整理誘導、家具転倒防止器具取付、襖・障子、家事援助サービス、損保ジャパン美術館管理、公園清掃、シルバーパス更新、除草、児童見守り

あったかサロン便り

昨年5月～本年1月末までの「あったかサロン」来訪者が、2,048名にもなりました。

12月は「巨大戦艦大和」の模型を前に、作者の岡崎甫雄さんが制作裏話を披露。24日クリスマスパーティーは、御馳走やクリスマスソング、豪華プレゼント付のビンゴゲームで大盛り上がり。1月は和菓子で「新春お茶会」、2月は豆まきやバレンタインデー、3月は「悪質商法」に引っかからないため役に立つ話等、毎月楽しいイベントや仲間が待っています。

多芸な会員さん講師がたくさん現れ、当センターは人材の宝庫だと思わせられます。

初めての方、ぜひサロンに参加してみてください。

事例発表③

除草グループ

当センターの除草受注実績は都内で第3位の約5千万円であるが、就業会員の減少傾向もあって夏季の繁忙期にはお待ちいただくケースが多い。

対策として、会員数増、複数人数で短時間就業実施が考えられる。除草技能を高め、発注者への接遇の向上等の研修も重要だ。

除草会員のグループ化を目指し昨年9月有志10名でワーキンググループを立ち上げ、12月に就業実情調査をメンバー137名に実施、77名の回答を得た。その結果、仕事量や夏季の作業等に関しては、適量、問題なしの回答が半数以上であり、全員で集まる会への参加希望は約55%あった。

グループ化の構想として、世田谷・北沢・玉川・砧・烏山の各地域のグループごとに世話人を選出し、世話人会を設立。世話人と事務局の連携で、新規の発注者にはグループ除草、リピーター発注者には、指名会員か新規会員をあてる等の対応をする。センターとの連携・確認のうえで、世話人会が中心になって、仕事の配分調節、会員の要望等の調整や研修計画も行うというもの。

3月22日に第1回全体会を開催予定である。



本田 牧夫 氏



安全委員会からのお知らせ

安全就業を持続させよう！

★朗報 皆様の安全意識の向上で、昨年8月以降、シルバー傷害保険対象事故は発生していません。

平成28年度 安全標語入選作品

テーマ① 私の安全行動について
優秀

安全の模範を示そう 我がシルバー

平塚 郁太郎

佳作

五感を磨き 更なる安全を

五月女 雄二郎

テーマ② 加齢と事故について
優秀

まだ若い 思う気持が 落とし穴

湯本 悦次

佳作

事故がおき 勘違いでは 済まされぬ

川名 享子

テーマ③ ヒヤリハットについて

優秀

油断すな 心の隙に 起きる事故

永光 省三

佳作

黄信号 ひやっとした瞬間 忘れずに

広瀬 進

あなたの職場拜見

地震対策は大丈夫？

家具転倒防止器具取り付けます

地震で怖いのは、室内の家具の転倒等で押しつぶされたり、逃げ道を塞がれたりすることです。これを防止するため、世田谷区は、満65歳以上の方や障害者等の所帯に家具転倒防止器具の取り付け支援（最高2万円）を行っています。

当センターは区からその取り付け作業を受託し、会員6名が区内全域をカバーしています。その1人である久保島 樹さんに、作業内容等を伺いました。

久保島さんは、建築会社出身で専門技術を持っているため、事務局からこの仕事を打診されたということですが、こんな職種があるとは知らなかったそうです。

『まず依頼者様宅に伺い、現場調査して見積の承認をいただきます。見積りは、材料費+取り付け料（区の規定の金額）と、家具固定用器具一对（1,300円~1,700円）×施工箇所、木工材料、その他補助機材等になります。「支援金以内で済ませたい」とのご希望が多いので、全て含めて2万円以内になるよう施工箇所を調整しています。

器具や補助機材をホームセンター等で購入し、自車で工具や脚立と共に運搬します。運搬にも安全

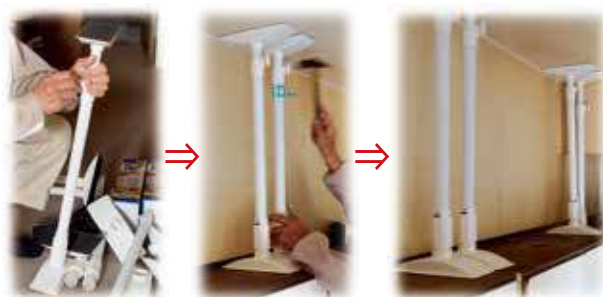


久保島 樹 氏

への注意が必要です。現場では、高齢者に代わって足場確保のための片付けや家具移動といった力作業をすることが多いので安全面からも二人作業が必要と思うこともあります。

時には、避難経路や防災面についてもアドバイスし、感謝されると、建築の専門家として喜びを感じます。』

（協本）



▲家具固定用器具を組み立て、天井と家具の間を固定して、転倒防止を行う。

★植木グループ 菅野和昌氏が 総理と語る

2月28日政府主催の「一億総活躍実現対話集会」に、シルバー人材センター会員として出席。働き方改革3本の柱の1つ「高齢者の就業28日促進」に関

連して、生涯現役で働けるシルバー人材センターの素晴らしさ等を、総理や聴衆の前で述べました。

ネットの産経新聞に、総理と臨席する菅野氏の写真が掲載されています。



版画家「川上澄生と棟方志功」

祖師谷・成城組 長谷川 勝朗

私は当センターで就業しながら、栃木県鹿沼市の「川上澄生美術館」の運営委員も務めています。

川上澄生という版画家をご存じの方は少ないでしょう。1970年代に放映された「サントリーローヤル」のテレビCMに「へっぼ先生」なる人物が登場しますが、それが川上澄生の版画集「えげれすいろは人物」にある澄生の自画像です。



▲「へっぼ先生」
©川上さやか

明治28年横浜生まれ、宇都宮中学(現宇都宮高校)で英語教師のかたわら数多くの版画を作成しました。南蛮物や明治調など、ノスタルジック、ロマンティックな画風です。

皆さんがご存じの版画家「棟方志功」の作品は、TV番組の「なんでも鑑定団」で大変高値で鑑定されています。志功は明治36年青森で生まれ。少年時代に弘前在住の洋画家「小野忠明」から雑誌の口絵のゴッホの「ひまわり」を見せてもらい、その素晴らしさに驚き感激し「わだば日本のゴッホになる」と洋画家を目指しました。

ところが、大正15年第5回「国画創作協会展」で澄生の作品「初夏の風」を目にした若き日の志功は、大変感銘を受け版画の道を志すようになったと言われています。



▲「初夏の風」 ©川上さやか

高齢でも筋力・意欲は若者以上

奥沢・等々力組 湯浅 隆介

当センターの仕事で、3日間、ある展示会の後片付けに就業したときのこと。とても自分より年下には見えないが、まさか年上でなかろうと思って見ていたその社員の方々が、重い荷物の移動や、上げ下げをやすやすとこなしていくのを見ました。

それを見てしまったら、体力自慢の私も弱音は吐けず頑張り通しましたが、本当にハードな3日間の就業でした。

後日、その社員とお会いすることがあって確認したら、全員70歳以上で、「働ける自分の体力と、会社に感謝している」とのこと。私も会員として、働く機会を与えてもらっている当センターに、あらためて感謝の念を強く感じました。

東京マラソン祭りボランティア体験記

下馬・上馬組 田村 弘子

昨年当センターに入会。以前からボランティアをしたいと思っていましたので、即、申し込みました。

真っ青な空。風もなく穏やかな天候に恵まれた会場で、作業の内容は、2人組でごみの分別をお客様にお願いし、箱が満杯になったらごみ集積場へ持っていくことです。相方がよい方で、会場のお客様方のマナーも良く、きちんと指示を守っていただき、「御馳走様でした。ありがとうございます」と温かい言葉までいただき、素晴らしい体験でした。

辺りには、警察犬を連れて警備に当たる警察官、

ドローンが上空を飛び見守っています。仕事の引継ぎを終えた帰り道、走っているランナーに向かって、「パパ、頑張っ」とお子さんの声、手を振って応えるパパ。胸の熱くなる場面でした。

来年も、ぜひ参加したいと思いました。



▲当センターからのボランティア参加者29名



◆表紙の写真解説

きたみふれあい広場(喜多見9丁目)の側の野川に架かる「神明橋」。その橋から満開の桜を見に大勢の人が訪れます。やがて花びらが風に散り始めると、花筏となって流れていくさまも見事です。

事務局だより

★会費納入のお願い★

平成26年度及び27年度の会費(年1,000円)が未納の方は、早急に宮坂本部または烏山支部へお納めください。

就業についてのご相談

- ◆ 理事による「さわやか相談窓口」は毎月第2月曜日に行われます。
※(祭日と重なっている場合は翌日)
----- 4月～6月 -----
- ・4/11(月)・5/9(月)・6/13(月)
- ・開設時間：10～12時 13～15時
(お一人の相談時間は30分以内です)
- ・場 所：宮坂本部
- ◆ 事務局窓口では、窓口開設中はいつでも相談できます。

世田谷区シルバー人材センター 宮坂本部の一時移転

宮坂区民センター改修のため、6月23日(木)・24日(金)に引越しの予定。

▼移転先：用賀ワークプラザ(玉川台1-12-1)

▼移転期間：平成28年7月～平成29年1月下旬

☆用賀・本部で実施している事業の場所の変更

用賀の植木受付、カルチャー教室、パソコン教室は実施場所を次のとおり変更します。

▽変更先：旧池尻地区会館(池尻2-34-3)

▽変更期間：平成28年7月～30年1月下旬(用賀ワークプラザも29年10月～30年1月下旬まで、改修するのでその期間閉鎖します。)

☆用賀の『あったかサロン』は現状のまま続ける予定です。

事業報告

平成27年4月～平成28年1月まで
(対前年度同月比)

- ・会員数 3,167人(11人減)
- ・受注件数 19,360件(428件増)
- ・契約金額 10億3,681万円余(9万円余増)
- ・就業率 74.3%

前年度比で減少している会員数と就業率は、現時点で平成27年度目標(3,200人79%)を達成できていません。このところ減っていた契約金額が前年同月比で9万円増と回復したのは、区から3年に1度実施される「シルバー情報」の配布を受注したことによります。

配分金振込日予定

配分金振込みは支払日に指定口座へ入金されますが、給与振込みと違い、全ての口座へ午前中に入金されるわけではありません。ご了承ください。

- ・3月14日(月)
- ・4月14日(木)
- ・5月18日(水)
- ・6月14日(火)

平成28年度

定時総会開催予定のお知らせ

- 6月10日(金)
- 世田谷区民会館ホール

平成27年度の事業報告、平成28年度の事業計画および予算を報告します。就業仲間や地域会員のみなさんをお誘いのうえ、ぜひご出席ください。

★開催通知は、5月末にご自宅へ送付します。総会当日は、開催通知の封筒をご持参ください。

用賀ワークプラザ



(アクセス)

- 東急田園都市線用賀駅南口から徒歩約5分(出口を左折)
- 東急バス用賀ターミナルから徒歩約6分
- 東急バス(千歳船橋-田園調布) 瀬田(環八口)から徒歩約7分

旧池尻地区会館



(アクセス)

- 東急田園都市線池尻大橋駅南口から約400m 徒歩約7分
- 池尻大橋 渋谷寄りバス停から約500m 徒歩約9分
- 池尻大橋 三軒茶屋寄りバス停から約300m 徒歩5分

世田谷区シルバー人材センターの楽しい広場

同好会会員募集

◆シルバーボウリング同好会

・場所 オークラボウル ・毎月第3金曜日 午後4:30～活動。

★連絡先 鈴木尊康 ☎090-2175-4615

◆囲碁同好会

囲碁の好きな方、実力無関係です。

・場所 宮坂区民センター 2階 和室

・毎月 第2火曜日と第4土曜日 午後1時～5時

★連絡先 田村進 ☎090-7856-3519

◆植物研究同好会

草花・低木の手入れ管理、実習など。

★連絡先 前澤一福 ☎090-7417-7420

◆ゴルフ同好会「けやき会」

・年4回「富士笠間ゴルフ倶楽部」コンペを開催。

★連絡先 田村進 ☎090-7856-3519

◆カラオケ同好会

★連絡先 ・(松陰神社) 辻谷 ☎3303-4212

・(船橋) 佐藤 ☎3483-0203

◆ボランティアグループ「青年隊」

「多摩川河川敷清掃活動」「東京マラソン」などに参加

★連絡先 田村進 ☎090-7856-3519

◆社交ダンス同好会

「いきいきせたがや文化祭」出演予定

・場所：宮坂区民センター3階 中会議室

・毎週月曜日 午後6時～8時30分

★連絡先 西村光代 ☎3420-1007